

おおくらだより



令和5年2月6日

(文責) 北九州市立大蔵小学校

校長 増田 知夏子

【学校教育目標】

「心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた自主的で実行力のある児童」の育成

誰にとってもよい1年になりますように・・・

2日(金)に勝山・勝田神社にて節分祭が開かれました。本校からは1・2年生と若竹学級の児童が参加しました。みんなより少し早い時間に、児童代表4名と玉串奉奠をさせていただきました。どの児童も神妙な面持ちで臨み、進行の方の指示に従って祭事に参加することができました。その後、全体に「節分」の説明をしました。昔の日本では、2月4日頃の立春が1年の始まりとされて、特に大切にされていたようです。そして、季節の変わり目には邪気が入ってくるといわれており、冬から春にかわる時に豆をまいて邪気(鬼)を追い払い、良いもの(福)を呼び込むために行ったことが節分の始まりといわれています。鬼の登場により、泣いたり怖がったりする児童が多いかと思いきや、勇ましく豆をぶつけては退治をしていました。今年1年が本校にかかわるすべての方にとってよい年になるようにと願います。



小学校入学説明会・中学校入学説明会

2日(金)に全市一斉中学校入学説明会がありました。9日(金)には、本校の入学説明会を行います。保護者にとっても、児童にとっても、ソワソワする頃ですね。入学してしばらくすれば慣れるものの、はじめはすべてのことが新しく落ち着かないものです。6年生は慣れた小学校生活から、中学校生活へと進みます。義務教育は15歳までです。進んであいさつをし、時間を守り、相手の目を見て話を聞き、自分で正しいことを選択するなど、社会に出る前に身につけておかなければならないことも学びます。中学校卒業後には、それぞれが進むべき道を決定しなければなりません。そのために時には厳しく叱られることもあります。が、「叱られた」＝「嫌だった」とだけ捉えるのではなく、叱られることは成長できるチャンス、変わるチャンスと捉えてもらいたいのです。自分の何がいけなかったのか、どう改善するべきか、よく考えて、少しずつ少しずつ成長してもらいたいものです。

送迎されている保護者の方へお願い

本校正門から入ると、離合するのが難しいほど道幅が大変せまくなっております。朝、駐車場で車の間からお子様飛び出してきてヒヤッとした教職員もいます。また、本校教職員だけでなく、給食のトラックも入ってきます。**お互いの安全のためにもなかよし橋横断歩道横の砂利の駐車場に停めていただけると助かります。**また、学校付近では、登校時間に余裕をもち、十分に速度を落とすなど、特に運転にご留意ください。校区内居住の方は子どもたちの朝の運動のためにも徒歩で登校させてください。子どもたちの安全のためです。どうぞご理解のほどよろしくお願いいたします。